

あ さ ひ か わ

市議会

ASAHIKAWA CITY COUNCIL NEWS

だより

発行：旭川市議会 〒070-8525 旭川市7条通9丁目48番地
編集：広聴広報委員会 電話 (0166)25-6380 FAX(0166)24-7810

旭川市議会ホームページアドレス

旭川市議会 検索

<https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/council/index.html>



CONTENTS

主な
内容

- 主な議案のあらまし……………2
- 一般質問……………3
- 大綱質疑、決算審査特別委員会……………6
- 第3回定例会に提出された議案とその結果、請願・陳情……………7
- 補正予算等審査特別委員会、賛否の一覧、緊急質問……………8
- 常任委員会の動き……………9
- 議会の動き、お知らせ……………10

第117号

令和6年(2024年)
12月15日

議会防災訓練を実施しました



▲10月10日に実施した防災訓練の様子

旭川市議会防災訓練を実施

10月10日、旭川市議会業務継続計画（BCP）に基づいた防災訓練を実施しました。

前半は本会議中に旭川を震度6の地震が襲い、庁舎内で火災が発生したために庁舎外へ避難するという状況を想定した避難訓練と、8階フロアにおける防火扉や消火栓などの防火設備の確認。後半は議場にて全体講習を受けた後、常任委員会単位でAEDを活用した救急救命講習を受講しました。

「天災は忘れた頃にやってくる」といいますが、私たち市議会議員は、地域住民の一員として非常事態に即応するのはもちろん、議会の構成員として、非常時においても議会が果たすべき役割を達成できるように努めます。

第3回定例会

主な議案のあらまし

本市議会は、令和6年第3回定例会を、9月10日から10月10日まで、31日間の日程で開催しました。

今定例会では、市長から提出された令和5年度各会計決算、令和6年度各会計補正予算、条例の制定・改正、契約の締結、変更契約の締結、北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更、人事及び報告の計35件の議案と、議員から提出された議員の派遣、意見書、決議案の計14件の議案を審議し、議員から提出された意見書の4件を否決したほかは、いずれも原案どおり決定しました。

●令和5年度各会計決算

令和5年度は、第8次総合計画で目指す都市像の実現に向け、引き続き「こども 生き生き 未来づくり」「しごと 生き活き 賑わいづくり」「地域 いきいき 温もりづくり」の3つの重点テーマに沿った事業に優先的に予算を配分したほか、新型コロナウイルス感染症対策や除雪費などの補正予算を9回取りまとめました。

また、事業執行に当たっても、持続可能な財政基盤の確立に向け、最少の経費で最大の効果を挙げられるよう努めてきました。

予算執行状況については、一般会計では、実質収支で10億3,781万9,040円の剰余、企業会計を除く7特別会計の実質収支で8億359万4,481円の剰余を生じました。

企業会計のうち水道事業会計では、収益的収支で13億4,567万5,572円の剰余、繰越工事資金336万3,637円を除いた資本的収支で34億5,118万152円の収支不足を生じました。

下水道事業会計では、収益的収支で5億6,479万1,437円の剰余、繰越工事資金4万100円を除いた資本的収支で31億2,813万1,459円の収支不足を生じました。

病院事業会計では、収益的収支で5億9,906万8,062円の収支不足、資本的収支で5億542万5,934円の収支不足を生じました。

各企業会計の資本的収支における収支不足は、いずれも損益勘定留保資金等で補填しています。

●補正予算

○令和6年度一般会計に17億8,808万5,000円を追加

今回の補正は、一般会計、介護保険事業特別会計、後期高齢者医療事業特別会計、水道事業会計です。

このうち一般会計の内容は、旭川市立大学施設整備補助金、ふるさと納税推進費、新規路線就航支援費、市民課DX推進費、老人福祉施設等整備推進補助金、延長保育事業補助金、予防接種費、中小企業振興資金融資事業費、体育施設補修費、畑地化促進事業費、道路側溝整備費、学校ICT環境整備費、衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査執行費などであり、歳入歳出予算の総額それぞれに17億8,808万5,000円を追加し、令和6年度一般会計予算の総額を1,743億7,044万6,000円とするものです。

●条例の制定・改正

○印鑑条例及び国民健康保険条例の一部改正

健康保険証の廃止に伴い、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴う規定を整備しようとするものです。

○観光振興基金条例の制定

観光の振興に関する事業に必要な経費の財源に充てるため、基金を設置しようとするものです。

○スキー場条例の一部改正

カムイスキーリンクスの利用料金に係る規定を整備しようとするものです。

- 20時間券及び追加5時間券の新設
- 利用料金設定基準の改定

●その他

○契約の締結(2件)

- 豊岡小学校屋体増改築工事
契約金額 7億3,480万円
- 千代田小学校プール改築ほか工事
契約金額 1億8,018万円

○変更契約の締結(5件)

既に締結している各種工事について、インフレーション(物価上昇)等に対応するため、契約金額を増額するものです。

- (仮称)旭川市リサイクルセンター(A)新築工事
変更前 7億4,175万1,585円
変更後 7億6,512万1,913円
- (仮称)旭川市リサイクルセンター(B)新築工事
変更前 7億1,819万1,174円
変更後 7億3,409万2,015円
- (仮称)旭川市リサイクルセンター新築資源物中間処理設備工事
変更前 5億9,796万9,630円
変更後 6億7,092万7,303円
- 永山西小学校(A)増改築工事
変更前 12億1,825万円
変更後 12億5,950万7,296円
- 永山西小学校(B)増改築工事
変更前 9億4,270万円
変更後 9億7,861万3,417円

●人事

○教育委員会委員の任命

次のとおり同意しました。
伊 東 義 晃 氏

○監査委員の選任

次のとおり同意しました。
坪 沼 一 成 氏

○固定資産評価審査委員会委員の選任

次のとおり同意しました。
江 口 尚 文 氏

一般質問

一般質問は、定例会で議案に関係なく、市政の諸問題や将来の見通しなどについて市の考えを聞くものです。今定例会では、9月18日から20日の3日間にわたり16人の議員が質問しました。その中から主な質問と答弁をお知らせします。

今定例会の質問者(発言順)

- ① 品田 ときえ(民主・市民連合)
 - ・パークゴルフ場利用料金の改善について
 - ・北海道日本ハムファイターズ2軍本拠地を旭川市に誘致する取組について
 - ・春光台公園・風の子館の解体・撤去の見直し等について
- ② 石川 まさゆき(自民党・市民会議)
 - ・消防団員の確保のための施策と今後の展望について
 - ・大雪時の訪問系サービス事業者の利便性向上について
 - ・北海道日本ハムファイターズ2軍本拠地の移転について
- ③ 金谷 美奈子(無党派G)
 - ・人口減少と若年女性の流出を止めるための課題について
 - ・市民活動交流センターCoCoDeの運営とカフェコーナーについて
 - ・米不足を招いた理由と農業政策について
 - ・中央中学校(学生対策便廃止)の課題について
- ④ あべ なお(自民党・市民会議)
 - ・醸造文化を活用した産業観光について
 - ・困難を抱える女性への支援について
- ⑤ 小林 ゆうき(旭川市民連合)
 - ・住まいの貧困と市営住宅について
 - ・旭川市のジェンダーギャップ解消

- の取組について
- ・市立図書館のインターネット環境の整備について
- ⑥ 安田 佳正(無所属)
 - ・令和6年度介護報酬改定による旭川市内の訪問介護事業所の経営状況について
 - ・少子化の影響による旭川市内の認可保育所の状況について
 - ・中央分離帯について
 - ・建築技術職員の資格取得について
 - ・分煙施設整備促進について
- ⑦ 中村 みなこ(日本共産党)
 - ・ICT教育について
 - ・空き家対策について
 - ・防災対策について
- ⑧ 沼崎 雅之(自民党・市民会議)
 - ・人口減少・少子化対策について
- ⑨ のむらパターソン 和孝(無党派G)
 - ・旭川市に子どもの命は守れるのか
- ⑩ 菅原 範明(自民党・市民会議)
 - ・地域建設業界の役割と建設業を取り巻く諸課題について
 - ・歴史的建造物の文化的価値について
- ⑪ 石川 厚子(日本共産党)
 - ・軍用機の飛来と体験搭乗について
 - ・補聴器購入費の助成について
 - ・保育について
 - ・ときわ市民ホールと勤労者福祉会館の現状と方向性について
- ⑫ たけいし よういち(自民党・市民会議)
 - ・エネルギー安全保障とGX施策等における本市の可能性について

- ・本市におけるサイクルツーリズムの現在・過去・未来について
- ⑬ 江川 あや(民主・市民連合)
 - ・市民の意見の反映と子どもの意見の保障について
 - ・地域の移動を守る
 - ・自分らしく働くこと
 - ・「親なきあと」も自分らしく生きるために
- ⑭ 高橋 ひでとし(自民党・市民会議)
 - ・いじめ防止対策について
 - ・有機農業とオーガニック給食について
 - ・中心市街地活性化と大学等研究機関の役割について
 - ・建設業界におけるDXの推進について
- ⑮ 高木 ひろたか(旭川市民連合)
 - ・地域力の向上にむけて
- ⑯ 高花 えいこ(公明党)
 - ・子どもに優しいまちづくり事業の推進とインクルーシブ教育について
 - ・带状疱疹ワクチン接種について
 - ・本市の地域公共交通の考え方について
 - ・市民向けの補助事業について
 - ・災害時の体制と備蓄品等について
 - ・本市の農業政策について
 - ・選挙時の移動期日前投票所について

①春光台公園・風の子館の解体・撤去の見直し等

問 春光台公園の風の子館は日本で初めての木製屋根付き遊具で、既成品の遊具では代え難い魅力と価値を有しています。解体は早計ではないでしょうか。

公園遊具は、今後も老朽化が進み、更新等の対応が生じると思います。毎年の点検と同時に、耐用年数を伸ばせるように計画的なメンテナンス対応についての見解を聞かせてください。

答 公園の遊具につきましては、毎年度の定期点検の結果や、公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化等により使用禁止となっている遊具を中心に整備を行うこととしており、地元町内会等に整備内容について理解が得られた公園から順次着手することとしています。

今後も遊具を利用する子どもたちの安全を第一に考え、施設の利用状況や危険度などを総合的に判断し、優先順位を定め、着実に遊具の更新を進めていきたいと考えています。

メンテナンスにつきましても、これまで以上に長寿命化に視点を置いて、多くの子どもたちに長年親しまれる遊具を残していけるよう努めていきたいと考えています。【土木部長】

②北海道日本ハムファイターズ2軍本拠地の移転

問 日ハムの2軍本拠地を北海道に移転する構想が進められており、旭川市も手を挙げるチャンスはあると思います。現在策定中の花咲スポーツ公園再整備基本計画において、スタルヒン球場を人工芝化し、日ハム2軍本拠地を誘致することが難しくても、日ハム育成選手や準本拠地として誘致したり、様々な野外イベントを誘致するなど、観光、スポーツ振興の活性化が期待できると思いますが、今後の本市が向かう道筋と本市が持つ可能性について市長の見解を聞かせてください。

答 日ハムの2軍本拠地の誘致につきましては、市民がスポーツに親しみ、子どもたちが夢を育むことができるようになるほか、地域経済の振興など幅広い効果も期待できるものと考えています。

一方で、球場などは自治体による建設が求められているほか、北広島市からの距離が重視されているとの報道もありますが、今後は本市の強みを十分にPRしながら、花咲スポーツ公園の再整備だけでなく、2軍本拠地の誘致につきましてもしっかりと挑戦を続けていきます。【市長】

③中央中学校(学生対策便廃止)の課題

問 中学校が3校統合され中央中学校が開校となった際、亀吉地区から中央中学校に至るスクール便が運行されていましたが、令和元年以降運行されておらず、新町小を卒業した児童が非常に不便な思いをしています。

路線の復活が難しいのであれば、例えば既存路線にバス停を増やすなどの工夫をして欲しいですが、教育長の見解を聞かせてください。

答 児童生徒が安全、安心に通学ができることは大変重要なことであると認識しています。中央中学校の通学の利便性向上につきましては、引き続き、市内路線バス事業者と、路線復活だけではなく、既存路線の延長なども含めながら、様々な可能性を探り、協議するとともに、路線バスの運行以外の様々な手法につきましても責任を持って検討をしていきます。

【教育長】

④困難を抱える女性への支援

問 本市では今年度、若年女性を主な対象とする居場所づくりや、LINEを利用した新たなアウトリーチ型相談支援事業を開始し、一定の成果があるようですが、今後は相談体制の充実のためにも、支援者の育成や知識の底上げのために研修などの実施が必要なのではと考えます。本市の困難を抱える女性への支援について市長の考えを聞かせてください。

答 困難を抱える女性が直面する状況は、支援の方法も多様であり、解決へのアプローチは慎重かつスピード感を要することから、どこに相談したらよいか分からない女性が、独りで抱えず、自分のことを安心して話せる、小さなことでも気軽に相談できる、さらに、同様の課題を抱える友人にも教えてあげられるといった相談窓口の存在が重要です。

今後も、引き続き、庁内各部、関係機関がチーム一丸となつて、支援を必要としている女性と行政や関連団体との懸け橋となるべく連携し、全ての女性が活躍できる地域社会の実現を目指すとともに、今、困難を抱える女性が問題解決につながっていくような取組をしっかりと進めていきます。【市長】

⑤市立図書館のインターネット環境の整備

問 近年、読書離れ、図書館離れが話題になっています。利用者が勉強や作業をするのに便利のように、市立図書館においても多様な市民ニーズに応え、学びや研究をサポートするために電源設備やWi-Fi等のインターネット環境の整備を進めるべきだと考えますが、市の見解を聞かせてください。

答 図書館は、読書のできる場所や本を貸し出す場所としてだけではなく、レファレンス[※]などの役割がありますが、来館される方は、図書館内で読書や調べ物をしている際に、分からない用語などを図書館内のパソコンや自分のスマートフォンなどで調べているものと考えており、図書館の基本方針の一つでもある自主的学習活動の支援を進めるためにもWi-Fi環境の整備は有効であると考えているところです。

こうしたことから、図書館で静かに読書できる環境などにも配慮しながら、Wi-Fi環境の整備に向けて要望をしっかりと受け止め、検討していきたいと考えています。【社会教育部長】

⑥分煙施設整備促進

問 分煙施設の整備は、受動喫煙防止のみならず、環境美化や喫煙マナーの向上も見込まれます。先般の税制改正大綱や総務省通知でも、たばこ税を活用し、積極的に分煙施設の整備に取り組むよう示されていました。

旭川でも、札幌市のように旭川駅などで屋外分煙施設を設けるといった実証実験を行うべきではないかと思いますが、市の見解を聞かせてください。

答 屋外の分煙施設設置につきましては、歩きタバコやポイ捨ての抑制による環境美化の促進、また、インバウンドを含めた観光客の受入れ体制の充実等の観点では効果が期待できると捉えています。景観への配慮や維持管理コストといった課題もあり、その必要性、優先度を検討し、判断する必要があるものと考えています。

屋外分煙施設を設ける実証実験の実施については、中心市街地や公園等での喫煙やポイ捨ての状況、市民や設置場所の管理者の意向等を関係部局で十分共有しながら、様々な視点から検討していきます。【副市長】

⑦空き家対策

問 年々増え続ける空き家が社会問題となっています。放置されたままだと、老朽化が進み様々な問題につながるおそれがあります。行政代執行などの手段についてもよほどの危険性がなければ執行されないとのことですが、突然の災害などで取り返しのつかない事態を引き起こしかねません。

市民の安心、安全な暮らしを実現すべき市としてこれでもいいのか、市の見解を聞かせてください。

答 令和5年度に空家特措法が改正され、一定の対策強化が図られたものの、特定空家等の対応策については市としても苦慮しています。

令和5年度から、北海道市長会を通じて、一定の条件のもとで、所有権を地方公共団体に帰属させ、解体や売却などの対応を迅速にできるよう、国に対して法改正の要望を道内他10市の賛同を得た上で共同提案として提出しています。

法改正のハードルは高いものと認識していますが、引き続き現場の声を国に伝えていきたいと考えています。【建築部長】

⑧人口減少・少子化対策

問 人口減少、少子化対策というのは部局横断的な政策です。旭川市の人口減少、少子化対策の責任者について、各部局にまたがる政策を見渡す立場として、例えば副市長の1人を担当に任命するなどは考えられないでしょうか。市長の見解を聞かせてください。

答 人口減少対策につきましては、子育て環境の充実や地域経済の活性化、雇用環境の充実など、様々な取組を総動員していくことが大事だと思います。その上で、このまちに住み続けたい、住んでみたいと思えるような、魅力的なまちづくりを進めることが何よりも大切だと考えています。

そのためには、関係部局が連携して横断的な取組を進める必要があると私も考えていますが、担当の副市長を置くよりも、3名の副市長が心をつなげてしっかりと人口減少問題に取り組んでいくことが大切であり、部局を横断してしっかりと市役所全体で取り組んでいきたいと考えています。【市長】

⑨旭川市に子どもの命は守れるのか

問 旭川市いじめ問題再調査委員会からの調査報告書が公表されました。報告書には様々な要因が記載されていましたが、いじめ被害に焦点を当てて事件の幕引きを図ることは適当なのでしょうか、見解を聞かせてください。

答 この度の再調査報告書では、事案発生当時の教育委員会において、法に基づく専門的知見が欠如しており、適切な対応がされなかったことや、学校における組織的な対応がなされなかったことなどについて、改めてご指摘をいただきました。今後、再発防止策の提言を踏まえ、早急にこれまでの取組を検証したうえで、実効性のある具体的な対策を取りまとめ、全ての児童生徒が安心して生活し、学ぶことができる社会の実現に向けて、学校、教育委員会、市長部局が一体となつたいじめ防止対策を推進していきたいと考えています。【教育長】

⑩地域建設業界の役割と建設業を取り巻く諸課題

問 建設業界においては新規就労者の減少、技術者の高齢化が進んでいます。今後、さらに人材不足が懸念され、建設業は成り立たない時代になりかねません。そうすると、市民生活や経済活動が停滞し、更には、人口減少などに重大な影響を及ぼすことが危惧されます。

こうしたことに対処するためにも、ICT施工など近代化による職場環境の改善などの働き方改革や、地域や地元企業の魅力発信など、官民一体となった取組が必要と考えていますが、市の見解を聞かせてください。

答 建設業の担い手の確保に向け、国や北海道、地元建設業界と本市で構成する「北のけんせつ担い手」育成会議において、小学生や高校生を対象とした現場見学会の開催や、旭川冬まつりへの出展など、官民一体で建設業の仕事や地元企業の魅力発信に取り組んでいます。

また、働き方改革への対応については、ICT施工や事務の効率化など、いわゆる建設DXを推進していくために、本市が主体となって建設業の方々との意見交換を行う会議を新たに設ける準備を進めているところです。

今後も、こうした取組を通じ、官民で連携しながら建設業界における働きやすい環境づくりに積極的に取り組んでまいります。【土木部長】

⑪保育について

問 就学前児童数は急激に減少しています。旭川市も、年齢に関係なく同一世帯の子どもの第2子以降の無償化に踏み切る時期に来ていると思いますが、3歳未満児の保育料の無償化について、市長の見解を聞かせてください。

答 少子化や人口減少が急速に進む本市におきまして、子育て施策は最重要施策であると考えており、子どもの健やかな成長を図るとともに、子どもを産み育てることを前向きに捉えてもらえるよう、ライフステージに応じて切れ目ない支援をすることが必要であるとの認識のもと、これまで中学生までの医療費無償化や大学生等への奨学金の創設などを行ってきました。

こうした観点からも、保育料の多子軽減策を含めた子育て世帯の経済的な負担軽減策につきましては、財政状況も踏まえながら総合的に検討していきたいと考えています。【市長】

⑫エネルギー安全保障とGX^{*}施策等における本市の可能性

問 北海道大停電から6年が経ちます。現在、旭川市を含む道北地域は再生可能エネルギー王国になるであろうと言われていますが、道内の送電インフラが道外と比較して極めて弱い状況です。送電網の整備は基礎自治体としての立場を超え、国に対し、未来を見据えた働きかけを行うことも肝要であると考えますが、市の見解を聞かせてください。

答 我が国におけるエネルギーの安全保障やエネルギーの地産地消などにつきましては、国策としての要素が強いものですが、道内で創出される再生可能エネルギーを最大限活用し、その効率的消費を図りながら、本市においてGX・DX産業の集積を進め、地域の振興や経済活性化を図るためには、送電網の増強が非常に大きな課題の一つであると認識しています。

そのため、本市としても、北海道などとも密接に連携しながら、経済産業省に北海道内における送電網の増強を要望したところであり、今後も、引き続き、本市において再生可能エネルギーの可能性を最大限活用できるよう、国にしっかりと働きかけていきます。【環境部長】

⑬自分らしく働くこと

問 障がいのある子どもが、保護者の手を離れて、自らの意思を持って働き出して、自分らしく生きていくために、行政としてどのような支援を行っていく必要があるのか、市の見解を聞かせてください。

答 障がいがある方の、親亡き後を見据えた体制整備については、国の方針に基づきながら整備を進めており、本市においても短期入所の空き情報共有システムを運用するなど、自立と自律を両立して安心な生活を送ることができるよう拠点づくりを進めているところです。

障がいのある方の日常活動における環境の充実は今後更に重要となりますので、地域の実情を踏まえ効果的な施策の推進を図るとともに、必要な財源確保に向けて取り組んでいきます。【福祉保険部長】

⑭中心市街地活性化と大学等研究機関の役割

問 現在千歳市に半導体工場を建設中のラピダスが、同社発展に寄与し得る資源があれば、これを積極的に活用したいため、旭川市などの他地域においても、積極的に売り込んでほしい旨の話がありました。旭川市も産学官金連携拠点や大学コンソーシアム^{*}を武器として積極的に売り込んでいく意思があるのか、市の見解を聞かせてください。

答 ラピダスも含めた最先端技術産業が地域の活性化につながる可能性がありますことから、本市としても、人材の輩出や高度な研究等を行う高等教育機関を有する、かつ優れた技能、技術を持ったエリアであることを、大学など関係機関とも連携し、広く発信していきます。【総合政策部長】

⑮地域力の向上にむけて

問 近年の町内会の加入率の低下や、地区割りの不整合、旭川市の部局間の連携の悪さなど、課題は山積していますが、地域力の向上にむけた考え方について、市の見解を聞かせてください。

答 今後は市民生活部が中心となり、各部署が持つ情報を集約するとともに、町内会の実態の把握を改めて行った上で、既存の様々な組織の地区割りの整理、また、地域に対し、行政がどう関わっていくのかという視点から、地域自治推進会議の活用も含めて、庁内で地域に関わる課題を共有し、横断的に議論を進めていきたいと考えています。【副市長】

⑯選挙時の移動期日前投票所について

問 選挙権の行使は、基本的人権の中でも最も重要な権利であり、民主主義の根幹をなす事項の一つです。移動期日前投票所は、知的障がい者や認知症の方、障がいのある方が投票しやすいようなシステムであるべきだと考えますが、市の見解を聞かせてください。

答 移動期日前投票所は、移動が困難な障がい者や高齢者などにとってより利便性が高まるものと考えられますが、こうした方々の居住実態としては、市営住宅のほか、マンションや施設に入所されている方、一般住宅で暮らす方など、実態は様々であり、こうした方々の状況に応えるためには相当数の設置が必要となります。また、仮に設置数を限定とした場合も、市内全域において巡回地点の基準をどのように設定するかなど、実施する上での課題は大きいものと考えています。

移動期日前投票所については、試験的に実施しながら、利用状況や運用方法などを検証し、より有効な活用方法を検討していきます。【選挙管理委員会事務局長】

*GX…グリーントランスフォーメーションの略。温室効果ガスの排出削減と経済成長の両立を図る社会変革の取組。

*大学コンソーシアム…個別に取り組みと手間や費用のかかる事業を共同で行うため、近隣の大学などが集まった組織。

大綱質疑

今回の大綱質疑は、決算審査特別委員会に付託する議案に対して質疑するものです。今定例会では、9月24日に3人の議員が質疑しました。

その中から主な質疑と答弁をお知らせします。

今定例会の質疑者(発言順)

- ① 江川 あや(民主・市民連合)
 - ・令和5年度一般会計決算の認定について
- ② 金谷 美奈子(無党派G)
 - ・令和5年度一般会計決算の認定について
 - ・令和5年度動物園事業特別会計決算の認定について
 - ・令和5年度公共駐車場事業特別会計決算の認定について
- ③ まじま 隆英(日本共産党)
 - ・令和5年度一般会計決算について
 - ・令和5年度公営企業会計決算について

①令和5年度決算の特徴と受け止め

問 令和5年度の予算には、旭川再起動予算と名付けられていました。こういった部分を再起動し、その結果、どのような効果があったのか、聞かせてください。

答 旭川再起動予算では、停滞感の打破に向けて、これまでの事業推進の考え方を一旦リセットし、慣例に捉われることなく市政を前進させるため、まず、機構改革によりいじめ防止、行財政改革、女性活躍の3分野で部を新設し、いじめ防止対策旭川モデルの構築や庁内DX改革、女性の多様な働き方支援などを推進しました。【総合政策部長】

②大学法人の運営

問 市立大学短期大学部の令和5年度入学者が少なかったということですが、公立大学法人の運営は赤字にならなかったのでしょうか。また入学者について、今後の取組はどうか、市の見解を聞かせてください。

答 大学法人の運営に関しては、予算で計上していた運営費交付金を超えて支出することがなく、安定的になされているものと認識しております。

また、大学法人では、広報活動を積極的に実施したほか、入学者選抜について、令和8年度の入学を見据えた指定校推薦制度導入など、より多くの学生に志願していただくため検討を進めたと伺っています。【総合政策部長】

③市立病院の経営

問 市立病院は、地域の不採算部門を担う、なくてはならない医療機関です。資金不足比率が20%以上となれば、経営健全化計画を策定し、様々な制約を受けます。令和5年度決算では大変厳しい状況にあると思いますが、市立病院の経営に関して、市長の考えを聞かせてください。

答 市立病院は、救急医療や高度医療、精神科などの不採算医療のほか、感染症指定医療機関として市内で最多の新型コロナ患者を受け入れるなど、市民や地域の皆様の命と健康を守るために、市内で唯一の公立病院としてその使命を果たしています。一方で、経営面では大変厳しい状況にあり、あらゆる対応策を講じて経営改善を図っていくことが不可欠であると認識をしているところです。

今後は私自身も、設置者として積極的に関わりながら、安定的な病院経営を目指して共に取り組んでいかなければならないものと考えています。【市長】

決算審査特別委員会(委員長:品田ときえ 副委員長:佐藤さだお)

令和5年度各会計決算の認定議案11件は、9月24日に「決算審査特別委員会」(委員33人)を設置し、同日に総務経済建設、民生子育て文教の2分科会を設置した後、付託議案を両分科会で分担し、24日から10月2日までの間に、それぞれ分科会を6回開催し、質疑等を行いました。

その後、10月8日の決算審査特別委員会で総括質疑を行い、いずれも原案どおり認定すべきものと決定しました。

各分科会での主な質疑

総務経済建設分科会

- ・市債の交付税措置について
- ・優良建築物等整備事業補助金について
- ・選挙執行における課題と今後の方向性について
- ・人事評価制度に係る取組と課題について
- ・総合庁舎の非常用発電設備について
- ・旭川市立大学の今後の運営について
- ・アドベンチャートラベル推進に向けた取組と今後の観光振興について
- ・林業の担い手確保・育成に向けた取組について
- ・建築士資格を有する職員の確保について

- ・ICTパークの運営状況とICT人材の育成について

- ・デザイン都市に関する取組について

民生子育て文教分科会

- ・介護予防教室の活動維持に向けた取組について
- ・市立旭川病院における経営改善の取組について
- ・生活保護費受給に係る扶養照会について
- ・学校を通じた定期予防接種の周知について
- ・地球温暖化対策における水素の利活用について
- ・あさひかわキッズタウンについて
- ・給付型奨学金制度について

- ・市民文化会館の建て替えについて
- ・愛育センターの施設設備整備について
- ・いじめ防止対策「旭川モデル」の評価と今後について
- ・新生児聴覚検査に対する支援について
- ・学校ICTに伴うタブレット端末等の使用状況と活用について

総括質疑

- ・アドベンチャートラベル・ワールドサミット2023ポストサミットアドベンチャーの予算執行とアドベンチャートラベルについて
- ・高齢者バス料金助成事業について
- ・スポーツ合宿誘致に係る基準等について

第3回定例会に提出された議案とその結果

件名	結果	件名	結果
◆ 令和5年度旭川市一般会計決算の認定について	認定	◆ 北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更について	可決
◆ 令和5年度旭川市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	〃	◆ 旭川市教育委員会委員の任命について	同意
◆ 令和5年度旭川市動物園事業特別会計決算の認定について	〃	◆ 旭川市監査委員の選任について	〃
◆ 令和5年度旭川市公共駐車場事業特別会計決算の認定について	〃	◆ 旭川市固定資産評価審査委員会委員の選任について	〃
◆ 令和5年度旭川市育英事業特別会計決算の認定について	〃	◇ 議員の派遣について	可決
◆ 令和5年度旭川市介護保険事業特別会計決算の認定について	〃	◆ 令和6年度旭川市一般会計補正予算について(追加分)	〃
◆ 令和5年度旭川市母子福祉資金等貸付事業特別会計決算の認定について	〃	◆ 令和5年度決算に基づく健全化判断比率の報告について	報告済
◆ 令和5年度旭川市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について	〃	◆ 令和5年度決算に基づく資金不足比率の報告について	〃
◆ 令和5年度旭川市水道事業会計決算の認定について	〃	◆ 専決処分の報告について(損害賠償の額を定めること)	〃
◆ 令和5年度旭川市下水道事業会計決算の認定について	〃	◆ 専決処分の報告について(損害賠償の額を定めること)	〃
◆ 令和5年度旭川市病院事業会計決算の認定について	〃	◆ 専決処分の報告について(変更契約を締結すること)	〃
◆ 令和6年度旭川市一般会計補正予算について	可決	◇ 年金制度における脱退一時金の制度改正を求める意見書について	可決
◆ 令和6年度旭川市介護保険事業特別会計補正予算について	〃	◇ 新型コロナワクチンの正確な情報等について国民に十分な周知を行うことを求める意見書について	〃
◆ 令和6年度旭川市後期高齢者医療事業特別会計補正予算について	〃	◇ HPVワクチンのキャッチアップ接種の期間延長を求める意見書について	〃
◆ 令和6年度旭川市水道事業会計補正予算について	〃	◇ 改正食料・農業・農村基本法の実効性確保等に関する意見書について	否決
◆ 旭川市印鑑条例及び旭川市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	〃	◇ 障害者相談支援事業を消費税非課税事業とすることを求める意見書について	〃
◆ 旭川市観光振興基金条例の制定について	〃	◇ 新型コロナウイルス感染症に対する経済的な負担軽減等を求める意見書について	〃
◆ 契約の締結について(豊岡小学校屋体増改築工事)	〃	◇ 核のごみ最終処分場選定の概要調査に進むことに反対することを求める意見書について	〃
◆ 契約の締結について(千代田小学校プール改築ほか工事)	〃	◇ 社会資本整備等に関する意見書について	可決
◆ 変更契約の締結について((仮称)旭川市リサイクルセンター(A)新築工事)	〃	◇ 自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書について	〃
◆ 変更契約の締結について((仮称)旭川市リサイクルセンター(B)新築工事)	〃	◇ 慢性閉塞性肺疾患(COPD)の潜在的な患者に対する適切な対応を求める意見書について	〃
◆ 変更契約の締結について((仮称)旭川市リサイクルセンター新築資源物中間処理設備工事)	〃	◇ ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実強化を求める意見書について	〃
◆ 変更契約の締結について(永山西小学校(A)増改築工事)	〃	◇ 義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める意見書について	〃
◆ 変更契約の締結について(永山西小学校(B)増改築工事)	〃	◇ 米軍人による性的暴行事件に厳重に抗議し、実効性のある対策等を強く求める決議について	〃

※◆は市長提出議案、◇は議員又は委員会提出議案

請願・陳情 市政について意見や要望のあるときは、どなたでも請願(議員の紹介のあるもの)や陳情(議員の紹介のないもの)を提出することができます。

令和6年第3回定例会で新たに付託されたもの

- 総務常任委員会付託
 - ・旭川市徽章について(陳情第9号)
- 子育て文教常任委員会付託
 - ・旭川女子中学生いじめ凍死事件を起因とする教職員、生徒及び関係者への人権じゅうりんに関する名誉の回復及びしかるべき補償並びにその公表等を求めることについて(陳情第10号及び陳情第11号)

令和6年第3回定例会で結果が出たもの

- 議会運営委員会付託
 - ・旭川市議会議場に国旗及び市旗の掲揚を求めることについて(陳情第2号)～採択
 - ・旭川市議会における国旗掲揚について(陳情第6号)～不採択
 - ・旭川市議会議場における国旗掲揚について(陳情第7号)～不採択
 - ・議場に「日の丸」の掲揚をしないことを求めることについて(陳情第8号)～不採択

補正予算等審査特別委員会(委員長:高橋 ひでとし 副委員長:塩尻 英明)

令和6年度各会計補正予算と関連議案及び単独議案の以上15件については、「補正予算等審査特別委員会」(委員15人)を設置し、9月10日から12日までの3日間にわたり慎重に審査を行い、いずれも原案どおり可決すべきものと決定しました。

●主な質疑

- ・凍上路線の整備について
- ・畑地化促進事業を活用した農業者支援について
- ・延長保育事業による保育支援体制の整備について
- ・産業廃棄物処理体制について
- ・スイス観光賞(スイス・ツーリズム・アワード)の受賞について
- ・録音告知機能付き通話録音機器の導入時期について
- ・新規路線誘致に向けた取組について
- ・カムイスキーリンクスのリフト料金改定における学校スキー授業への影響について
- ・旭川市立大学の新学部設置とまちづくりに果たす役割について
- ・旭川市立大学における施設整備及び財政運営について
- ・新型コロナワクチン接種による健康被害救済への支援について
- ・マイナンバーカードの特急発行について

賛否の一覧 ※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ、掲載しています。

自民党・市民会議 (12人)												公明党 (5人)				民主・市民連合 (4人)			日本共産党 (4人)			旭川市民連合 (4人)			無党派G (3人)		無所属	無所属									
笠井	あべ	たけいし	石川	沼崎	えびな	高橋	菅原	佐藤	松田	福居	杉山	駒木	皆川	中野	高花	中村	江川	高橋	品田	高見	中村	まし	石川	能登	小林	植木	塩尻	高木	のむら	上野	金谷	横山	安田				
まなみ	なお	よういち	まさゆき	雅之	安信	ひでとし	範明	さだお	卓也	秀雄	允孝	おさみ	ゆきたけ	ひろゆき	えいこ	のりゆき	あや	紀博	ときえ	一典	みなこ	隆英	厚子	繁	ゆうき	だいすけ	英明	ひろたか	和幸	美奈子	啓一	佳正					
★令和5年度旭川市一般会計決算の認定について(可決[賛成26、反対7])																																					
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
★年金制度における脱退一時金の制度改正を求める意見書について(可決[賛成17、反対16])																																					
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
★新型コロナワクチンの正確な情報等について国民に十分な周知を行うことを求める意見書について(可決[賛成29、反対4])																																					
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
★HPVワクチンのキャッチアップ接種の期間延長を求める意見書について(可決[賛成25、反対8])																																					
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
★改正食料・農業・農村基本法の実効性確保等に関する意見書について(否決[賛成16、反対17])																																					
★障害者相談支援事業を消費税非課税事業とすることを求める意見書について(否決[賛成16、反対17])																																					
★新型コロナウイルス感染症に対する経済的な負担軽減等を求める意見書について(否決[賛成16、反対17])																																					
★核のごみ最終処分場選定の概要調査に進むことに反対することを求める意見書について(否決[賛成16、反対17])																																					
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
★米軍人による性的暴行事件に厳重に抗議し、実効性のある対策等を強く求める決議について(可決[賛成21、反対12])																																					
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※賛成者は「○」、反対者は「×」としています。議長は採決に加わらないため、斜線としています。

緊急質問

緊急質問は、質問が急を要するとき、真にやむを得ないと認められるときに行う質問です。

今定例会では、9月17日に、「9月13日の理事者発言(市長等)」について、4人の議員が質問しました。その中から主な質問と答弁をお知らせします。

今定例会の質問者(発言順)

- ① 品田 ときえ(民主・市民連合)
 - ・いじめ問題再調査委員会の答申と報告書(公表版)について
- ② 能登谷 繁(日本共産党)
 - ・市長等の発言に対する緊急質問
- ③ 上野 和幸(無党派G)
 - ・旭川市いじめ問題再調査委員会報告書(公表版)と理事者発言について
- ④ 横山 啓一(無所属)
 - ・旭川市いじめ問題再調査委員会答申及び報告書の評価について
 - ・今後の対応について

①いじめ問題再調査委員会の答申と報告書(公表版)について

問 再調査委員会から提出された答申を受けての市長の見解を改めて聞かせてください。

答 いじめの認定の再検証、いじめと自死との関連性の再検証、学校及び市教委の対応についての再検証と再発防止策の提言、以上3点の諮問事項について、委員会としての考え方とそれに基づく委員会としての見解が明確に示され、極めて精度の高い報告をいただいたと感じています。

報告書では、再発防止のための様々な提言が本市が果たすべき責任として期待を込めて盛り込まれていますが、このような痛ましく悲しい出来事を二度と起こすことがないように、旭川モデルの更なる充実を図り、また、この取組を全国に広げ、いじめ防止の先駆的な自治体として全力で取り組んでいく必要があると考えています。【市長】

②市長等の発言に対する緊急質問

問 現在、旭川市では16件のいじめの重大事態の案件を抱えているとのこと。旭川モデルもスタートしている中で早期の解決が図られるものと思いますが、進捗状況はどうなっているのか、聞かせてください。

答 本件を含む3件は調査を終了しています。調査未了13件のうち、1件は報告書の作成を終え、保護者への説明を行っている段階であり、10件は報告書を作成中のため、年内の終了を見込んでいます。残りの2件は、聞き取りなどの調査を要しているため、年度末頃までの終了を見込んでいます。【学校教育部長】

③旭川市いじめ問題再調査委員会報告書(公表版)と理事者発言

問 この報告を受け、発達障害の児童生徒への対応や、発達障害児童の中学校入学時や転校の際の引継ぎ及び通常生徒の個々の特性の引継ぎについて、教育委員会はどのように考えているのか、考えを聞かせてください。

答 発達障害を含め、課題を抱える児童生徒については、本人と保護者が保管する支援計画を定めた「すくらむ」を活用し、個別のニーズに対応してきています。中学校進学や転校時の引継ぎについても「すくらむ」を活用していますが、報告書では学校が主体となって活用すべきとの提言が示されており、今後は、学校が個別の教育支援計画などを作成することなど、取扱いを検討していきます。

また、個別の教育支援計画の内容を見直す際には、家庭との連携を図るとともに、必要に応じて学校内外の教育資源の活用や専門機関との連携を図ることを求めるとの提言を受け、連携の在り方も含めて効果的な手法を検討していきます。【学校教育部長】

④今後の対応について

問 報告書の最後にも、いじめ防止の先駆的な自治体として先進的役割を果たすということが期待されています。改めて、予算増、人材確保など、学校現場が今抱える諸課題の解決にどう踏み込んで取り組むかということに対して、市長及び教育長の決意と覚悟を聞かせてください。

答 この度の再調査委員会による提言を踏まえ、取組の着実な遂行と更なる強化を進めるとともに、この旭川モデルをいじめ問題を抱える他の自治体においても活用可能な仕組みとして確立し、全国に発信するなど、いじめ問題の解決に向けた先進的な役割を果たすことができるよう取り組んでいきます。【市長】

二度と同様の悲しい事態が起きることのないよう、旭川市いじめ防止対策推進条例の目的である、児童生徒の生命と尊厳を守ることができ、かつ、全ての児童生徒が安心して生活し、学ぶことができる社会の実現に向け、教職員の負担軽減も見据えながら、学校、教育委員会、市長部局が一体となり、旭川モデルの一層の充実に取り組んでいく決意です。【教育長】

常任委員会の動き

令和6年6月25日(第2回定例会閉会日の翌日)以降の各委員会における主な活動内容や協議経過等についてお知らせします。

総務常任委員会

委員長：えびな 安信 副委員長：塩尻 英明

行財政改革と施設再編 課題は山積

7月以降の委員会では、毎年見直すこととされている公共施設等総合管理計画第1期アクションプログラム施設再編計画や、これまで取り組んできた行財政改革推進プログラム2020の取組結果の報告などを受けました。

人口減少が続くなか、将来に向けた市有施設の在り方を考えていくことは重要であります。

また、行財政改革においては80項目のうち9項目が予定より遅れており、1項目は実施不可となるなど、財政難と言われている旭川市としてはまだまだ取り組まなければならない課題が山積しています。

そのような状況ではありますが、市民文化会館をはじめ老朽化した市有施設の大規模な建替工事や修繕工事等を行う必要性に迫られており、財政状況や将来の人口動態を踏まえた施設整備が行われるよう活発な議論を行ってまいります。

民生常任委員会

委員長：高橋 紀博 副委員長：石川 まさゆき

民生常任委員会の活動について

令和6年7月から9月までに行われた当委員会では、清掃及び環境に関する事項を議題とし、熱中症対策に関わる庁内体制について環境部より報告があり、熱中症警戒アラートの概要や旭川市の体制について説明がありました。また、令和6年第3回定例会提出議案について、旭川市介護保険事業特別会計補正予算や旭川市後期高齢者医療事業特別会計補正予算などの説明を受けました。また、能登谷委員からはマイナ保険証と現行保険証の取扱いについての質疑がありました。

また、委員会終了後には令和6年度市民と議会の意見交換会に関する打合せや開催に向けて準備を行い、当委員会では「インクルーシブなまちづくり」をテーマとし、旭川市障害者福祉センター(おびった)で開催することとしました。

引き続き、今後のより良い市政運営に向けて議論や政策提言を行ってまいります。

経済建設常任委員会

委員長：菅原 範明 副委員長：のむらバターソン 和孝

自然災害、宿泊税、米不足対策

7月24日の委員会では観光スポーツに関する事項として、本市の一部外郭団体において、法人税及び消費税等の課税対象事例が発生したことについて協議の上、過去5年分の本税及び加算税、延滞税を納付したことについて報告を受けました。

8月21日の委員会では、7月23日から24日にかけての大雨による、土木部所管施設や農作物の被害状況やその対応、その後の経過及び処置について報告を受けました。

9月6日の委員会では、令和5年度旭川市一般会計決算の認定、令和6年第3回定例会提出議案についての説明と本市における宿泊税制度の考え方の説明及び農作物の生育状況についての報告を受けました。また、日本中で米不足が起こり国民が混乱する中、石川厚子委員から米不足の現状と対策についての質疑がなされました。

当委員会では、市民生活に直結する問題や課題が多いため、今後もその解決に全力を注いで参ります。

子育て文教常任委員会

委員長：高花 えいこ 副委員長：江川 あや

若い世代との意見交換

議会が開会していない間も、常任委員会での活動は継続しております。市民や団体との意見交換が積極的に行われているのも当委員会の特徴で、昨年に引き続いて、8月21日に「障害児も地域の普通学級へ・道北ネット」の皆さんと、当事者の同級生の皆さんが休みを取って参加をしてくれ、インクルーシブ教育を中心とした意見交換を行いました。

学生であったり社会人であったりとそれぞれの進路に進んでいる中での視点も踏まえて、市議会に対しての要望等も伺うことができ、どのように市政に反映させていくのか委員それぞれの受け止めを含めて、決算議会の中でも質疑で取り上げられていました。

このたびの定例会の決算審査特別委員会でも、これまでの調査等を踏まえた質疑が多くありました。特別委員会の質疑は録画でも公開されておりますので、ぜひそれぞれの委員の質疑をご覧いただき、意見交換等を行えたらと思います！

議会の動き

令和6年6月25日から第3回定例会閉会日(10月10日)までの議会の動きです。

7月		10日	・本会議(第3回定例会開会) ・補正予算等審査特別委員会 ・広聴広報委員会	27日	・決算審査特別委員会分科会
23日	・総務常任委員会 ・民生常任委員会	11日	・補正予算等審査特別委員会	30日	・決算審査特別委員会分科会
24日	・経済建設常任委員会 ・子育て文教常任委員会	12日	・補正予算等審査特別委員会 ・議会運営委員会	10月	
25日	・議会運営委員会	13日	・本会議(補正予算等審議、理事者発言) ・議会運営委員会	1日	・決算審査特別委員会分科会
8月		17日	・本会議(緊急質問)	2日	・決算審査特別委員会分科会 ・議会運営委員会
20日	・総務常任委員会 ・民生常任委員会	18日	・本会議(一般質問)	8日	・決算審査特別委員会 ・議会運営委員会 ・本会議(総括質疑)
21日	・経済建設常任委員会 ・子育て文教常任委員会	19日	・本会議(一般質問)	10日	・本会議(第3回定例会閉会) ・総務常任委員会 ・広聴広報委員会
9月		20日	・本会議(一般質問)	<div style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px;"> のむらバターソン和孝議員は衆議院議員総選挙に立候補したため、令和6年10月15日付けで自動失職となりました。 </div>	
4日	・議会運営委員会	24日	・本会議(大綱質疑) ・決算審査特別委員会 ・決算審査特別委員会分科会		
5日	・総務常任委員会 ・民生常任委員会	26日	・決算審査特別委員会分科会		
6日	・経済建設常任委員会 ・子育て文教常任委員会				

市議会ハラスメント研修を実施しました

9月5日、Stand by Women 代表の濱田 真里氏を講師にお招きし、旭川市議会におけるハラスメント研修を実施しました。ハラスメントは加害者側の悪意の有無に関わらず、受け取る側がどのように感じるかが重要であり、非常にデリケートな問題です。市議会議員という立場で、無意識のうちに加害者としてふるまうことがないように、ハラスメントとは何か、正しい知識を取り入れ今後の活動に活かします。

本会議・特別委員会の中継がインターネットでご覧いただけます

旭川市議会ホームページアドレス

<https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/council/index.html>

議会中継をご覧になるには、「市議会を見る・聞く」に続いて「会議録・議会中継」を選択してください。

旭川市議会

検索



議会を傍聴しませんか

本会議や委員会は、どなたでも傍聴することができます。

本会議では補聴装置、手話通訳及び要約筆記をご利用になれます。補聴装置(受信機・イヤホン)は、傍聴受付の際にお申出ください。手話通訳は、傍聴予定日の3日前まで、要約筆記は1週間前までに、議会事務局議会総務課(電話25-6380・FAX 24-7810)へお申込みください。手話通訳については一般社団法人旭川ろうあ協会(電話45-0757・FAX 45-0760)への申し込みも可能です。

「声のあさひかわ市議会だより」(CD)を無料で貸し出しています



目の不自由な方で、希望される方は、議会事務局議会総務課(電話25-6380・FAX 24-7810)までご連絡ください。

